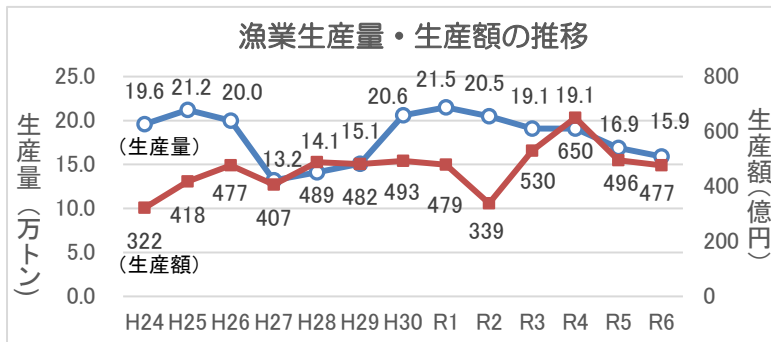
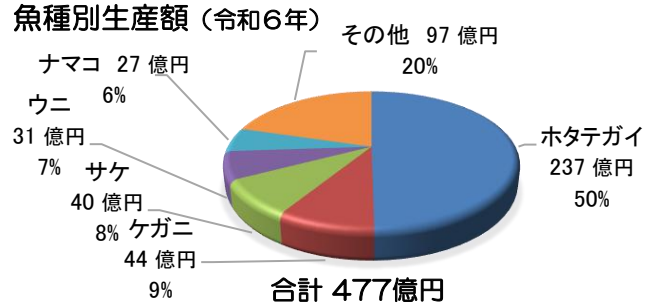
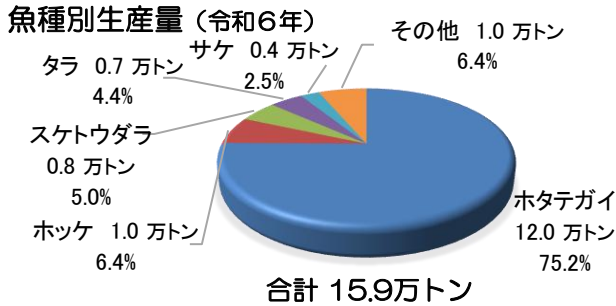


水産業

全道の漁業生産（令和6年）は、数量が107万トン、金額が2,856億円となっており、そのうち宗谷管内は、数量で15.9万トン（全道3位）、金額で477億円（道2位）と沿海12（総合）振興局の中では上位の水揚げを誇ります。

■漁業生産の概要

管内の漁業生産について、ホタテガイが数量（75%）、金額（50%）ともに1位となっており、以下、金額で、ケガニ、サケ、ウニ、ナマコの順となっています。
また、主要魚種は海域により大きく異なり、オホーツク海側はホタテガイ、ケガニ、サケ、日本海側はウニ、ナマコ、コンブの順となっています。



管内漁業と全道比（令和6年）

区分	単位	管内	全道	全道比
漁業生産量	トン	159,339	1,069,516	14.9%
漁業生産額	百万円	47,712	285,610	16.7%
組合員数 (准組合員含む)	人	1,920	14,375	13.4%

（漁業生産：北海道水産現勢）
（組合員数：北海道水産林務部水産経営課）

■資源管理の取組

- 資源の持続的な利用を図るため、ケガニの許容漁獲量の設定やホッケの資源回復のための自主規制等の取組みを行っています。

■担い手の育成と漁業士の活動

- 離島地域における漁業就業者は急速に減少・高齢化が進んでおり、新規漁業就業者の確保が大きな課題となっています。このため、関係者で組織する地域漁業就業者対策協議会では、「漁業体験研修(漁師道!)」(利尻地域)を実施するなど、地域が一体となった就業者対策に取り組んでいます。
- 小中高校生を対象とした地域漁業者(宗谷管内漁業士会)による『出前授業』を実施し、魚食文化や水産業に対する知識と理解を深めています。



漁業士 出前授業

■栽培漁業と漁場・漁港の整備

- 資源増大を図るため、ニシン、ヒラメ等の種苗放流に取り組んでいます。
- 資源増大及び水産物の安定供給を図るため、漁場・漁港の整備に取り組んでいます。



ニシン 種苗放流



FP魚礁3.00型 沈設



防波堤 整備



防風柵 整備